

アストラゼネカ(株)が棚田にて農作業を実施

< 山梨県 >

市町村・集落の名称	南巨摩郡 増穂町 平林地区
協働の相手(企業や大学等)の名称	アストラゼネカ株式会社 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビルタワーイースト
仲介者・コーディネーターの名称	特定非営利活動法人 棚田ネットワーク 代表 中島 峰広 (早稲田大学 教授)
協働のポイント	棚田ネットワークを通し話があり、その後、アストラゼネカ社の社員が平林まで足を運び、話がまとまっていった。また、平林地区には、地区住民全戸加入の「平林活性化組合」があったため、この組合が中心となり準備を進めることができた。
協働のきっかけ・経緯	平成18年7月：棚田を通して知り合った中島教授よりボランティア受け入れの依頼があった。その後、アストラゼネカ社との調整が始まる。 アストラゼネカ社がリーダーを決め、ボランティア活動の内容について協議を重ねる。 平成20年で3年目になる。
取組の具体的な内容	アストラゼネカ社員約3,000人参加のプロジェクト。 このうち、平林地区には毎年約50名の社員が参加。稲刈り、畑の草取り、野菜畑の片付けなどの作業を農家と一緒に取り組む。
農村地域への効果	農作業への協力による負担軽減や都市住民との交流。 これらが、地域住民の喜びとなっている。
都市部の主体(企業や大学等)への効果	農業の大変さや物を作ることを知る喜びが味わえる。 各報道機関へのPR効果。
仲介者等の役割	初年度の相手先への説明と受け入れの要請。
今後の課題	天候によって作業が左右される。 今後の農家数の減少により、ボランティア受け入れの調整が困難になる。
関連事業(国・都道府県等)	

(活動状況写真等)

